

大野校区ふれあい協議会広報誌 第7号

発行元 大野校区ふれあい協議会

2010年3月30日



大野校区の皆さんに支えられて活動しています。



平成21年度 総会を開催

平成21年5月15日(金)、午後7時から黒崎出張所で総会を開催しました。総会では、平成20年度の事業報告や決算、平成21年度の事業計画、予算案が議決されました。



西区役所庁舎整備の説明会を開催

平成22年1月29日(金)、午後7時から黒崎出張所で西区役所庁舎整備の説明会を開催しました。この説明会は、西区自治協議会の区役所整備などを検討しているプロジェクトチームから現在の検討状況の説明を受けたものです。他のコミ協でも同様の説明会の開催が開催されました。説明会では20名の参加者に対し、プロジェクトチームの事務局が説明を行なった後、意見交換を行いました。今後、西区自治協議会では、各説明会でのご意見・アンケートなども踏まえさらにこの問題について検討をしていくとのことです。



信濃川浄水場視察研修

【日 時】平成21年11月25日(水) 午後2時～
【視 察 先】新潟市水道局信濃川浄水場 【参加者数】14名
【視察内容】平成21年11月25日(水)、午後2時から新潟市水道局信濃川浄水場で生活環境部会主催で視察研修を開催しました。生活をしていく中で絶対に欠かすことのできない水。その水に関する知識を深めるために新潟市水道局信濃川浄水場を視察してきました。

当日は、14名の方々が参加されました。水道についての知識をより多く得ることにより、水の大切さ、水の汚染などについての理解を深め、地域における生活環境の向上を図るうえでたいへん意義のある視察研修会でした。



「渋ちゃんの市民のためのかんたん法律教室」を開催

【日 時】①平成21年3月14日(土) 午後2時～
【日 時】②平成21年7月25日(土) 午後1時30分～
【参加者数】①21名/②26名
【会 場】黒崎出張所 講堂

【講 師】不幸予防士 渋井保之氏(元裁判所書記官)
【講座内容】平成21年3月14日(土)・7月25日(土)、午後1時30分から黒崎出張所で教育文化部主催「渋ちゃんの市民のためのかんたん法律教室」を開催しました。「知らないと損をする。知って得するかもしれない初歩的・基本的・一般的な法的知識」を学ぼうと元裁判所書記官の渋井保之さんのお話をうかがいました。実際に法廷で着ていた法衣を着られたり、本当に裁判所の職員だったことをユーモアたっぷりに証明されました。堅苦しかった雰囲気が一気に和やかになり、参加者の緊張を解いてくださいました。さらに、「裁判員制度は義務と考えずに権利と考えて参加してほしい」とお話いただきました。



「歴史講演会～戊辰戦争と河井継之助～」を開催

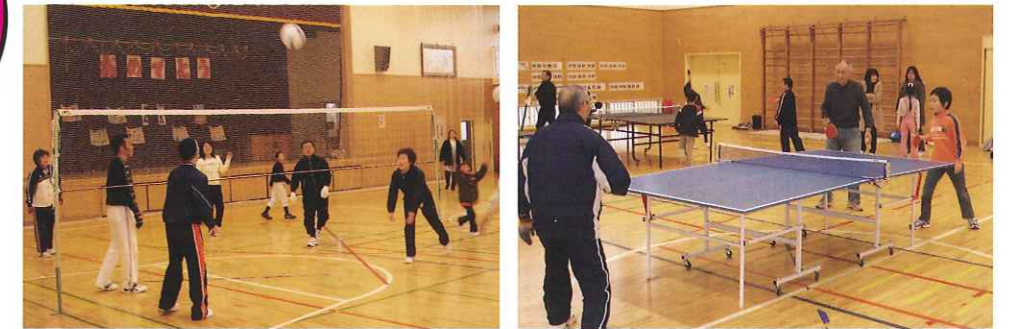
【日 時】平成21年10月10日(土) 午後2時～
【会 場】黒崎出張所 講堂 【参加者数】45名
【講 師】長岡市 河井継之助記念館館長 稲川明雄氏
【講座内容】平成21年10月10日(土)、午後2時から黒崎出張所講堂で生涯学習部会主催「歴史講演会～戊辰戦争と河井継之助～」を開催しました。

長岡市の河井継之助記念館館長 稲川明雄さんの歴史講演会を行いました。演題のほかに、明治初期に日本の政治家として活躍された黒崎出身の山際七司、萩野左門や越後七不思議の中に出てくる黒鳥兵衛にまつわるお話も伺いました。黒鳥兵衛の勢力範囲が長岡と小千谷の境あたりまで及んでいたということや、長岡の長生橋を建設したのは現在の長岡市大野町の人であったなどのお話がありました。43人の出席者の皆さんは、驚いた様子であったとともに貴重なお話が聞けて大変よかったとの感想をいただきました。



卓球・ソフトバレーを楽しもう

【日 時】平成22年3月13日(土) 午前9時15分～
【会 場】大野小学校 体育館 【参加者数】65名
【講座内容】平成22年3月13日(土)大野小学校体育館で大野小学校区スポーツ振興会と共催で開催されました。家族で参加された方が多く、準備運動の後、卓球とソフトバレーを皆さん一緒になって楽しみました。



平成22年1月19日(火)、鳥原本村自治会で300名余りを集めて行なわれた、今年も地域の無病息災を祈る「さいの神」。



広報誌発行と自治会活動の取材



平成21年10月17日(土)行なわれた中学校通自治会防災訓練の「防煙体験」。

黒埼地区 防災ボランティア講座

防災のための図上訓練 ～身近な地域を知るために～

3月4日黒埼市民会館で開催された標記講座に各部会より参加した概要を報告します。

「7.13水害の被災地から学ぶ地域作りと防災ボランティア」と題して、三条市南四日町1・2自治会長 上石貞夫さんの講演がありました。

平成16年7月13日「7.13水害」の体験談(2日2晩の水攻め生活)と復興一段落したところ中越大震災、それを契機に老人会の母体ができ、災い転じて福に向けていますとのこと。

組織作りに必要なことは、①共感する人をさがす。そしてまず実施すること。②定期的に行事を実施すること。③リーダーはある程度ワンマンでガンコであれ！の内容でとても貴重な体験談でした。

つづいて、にいがた災害ボランティアネットワーク事務局長 李 仁鉄さんの実際に災害に直面したとき「災害ボランティアセンター設置について」のお話し。役割分担を明確に(自主防災組織の出番)。

どこに(Where)、誰が(Who)、何を(What)を早急にセンターは示す。被害者は「困っていること」が表現できない、「助けて！」と言いがたい、(不安 自分だけ助けてもらって!と思われる)従って、常日頃の人間関係が「絆」が大切であり、愛援力と支援力が大切。

一般市民は「もし今地震が起きたら」「もし今水害

があったら」と一度でいいから考えて欲しい。バケツリレー、大声競争、非常食体験…防災の名がつかない防災訓練が必要であるというボランティア活動のお話をうかがいました。

最後に、「図上訓練DIG(ディグ)を通して身近な地域を知る」災害図上訓練を南区社会福祉協議会 田巻美和子さん指導のもとおこないました。DIGとは、参加者が大きな地図を囲み、皆で議論しながら自分たちが暮らす地域内の施設や、主要な道路、水路、医院など災害救援に関わる機関施設、防災に役立つ施設を書き込んでゲーム感覚で災害時の対応を考え、災害に強いまちを作るために、たいへん役立つ手法です。この機会に各自治会でも実行されたいかがでしょうか。



どなたでも参加できます。あなたもこの会の運営に参加しませんか。

個人でも団体でも参加できます。

【お問い合わせ】TEL 377-3133

編

集

後

記

各部会の協力のもと、第7号を発行することができました。部長以下部員11名、校区内の色々の情報をお待ちしています。